

フィジカル イグザミネーション

公益社団法人神奈川県助産師会勤務部会主催研修会

日時：平成27年6月20日（土）13:30~16:30

会場：とわ助産院

人数：31名（会員28名 非会員3名）

講師：東京医療保健大学 大石時子氏



助産師が自律して、助産外来や院内助産で妊産褥婦さんを診察し、アセスメントしていけるよう、大石時子先生にお話ししていただきました。

主催者より

妊婦健診時、通常の妊婦健診で確認する項目以外に、妊婦の様子あるいは訴えから産婦人科関連の疾患以外の疾患の可能性を想定できる力の必要性を実感する3時間でした。女性生殖器の診察に関しても、実際すぐに活用できる技術ではないと考えますが、この技術を知っていることによる診察時の女性への援助の幅の広がり、知識の活用といった更なるステップをあげる事ができたような感じがしています。助産師は看護師でもあります。妊婦だけでなく女性が体を預けてくれるような助産師へ一歩前進できたのではないのでしょうか。

参加者感想

- グループワークを用いた研修が学生気分楽しく学べた
- デモ人形を使用していた研修があり良かった
- 妊娠に伴うマイナートラブルだけでなく、他のことも丁寧にみる考えることが学べました
- 妊娠に関する分野だけの勉強だけでは足りないと思いました
- 知識と実技を合わせて学ぶことが出来た



次回のお知らせ

10月24日（土）13時半より
とわ助産院にて
「助産業務と倫理」
湘南医療大学 加藤 尚美氏